公開プログラム

＊受講生に限らずどなたでもご参加いただくことが可能です。

応用講座

1年目・2年目は基礎講座を開講し、ソーシャルアートの基礎知識を身につけていただきました。3年目となる本年度は応用講座として、国際連携や多様な視点からの対話を通じて、3年間の成果を総括し、ソーシャルアートの新たな視座をともに探ります。

国際ネットワーク

**「アートと居場所。自由な風が吹くこと
～世界のホームレスアートネットワークと大阪の釜ヶ崎と八尾の事例から～」**

イギリス・ロンドンでホームレスのアート支援に取り組むマット・ピーコックを招聘します。日雇い労働者の貧困と孤立、移民の差別など大阪の社会課題を手始めに、安全・安心な居場所づくりやアートによる尊厳の回復など内外で共通する普遍的なテーマについても意見交換を行い、国際的なネットワークづくりにつなげます。

日時：2026年**1**月**25**日（日）14:00～16:00
会場：**大阪公立大学I-siteなんば**
コーディネーター：**吉田隆之**（大阪公立大学大学院都市経営研究科教授）
パネリスト：**マット・ピーコック**（Arts&Homelessness International 代表／イギリス）
上田假奈代（詩人、NPO 法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム) 代表理事）
朴洋幸（NPO 法人トッカビ代表理事）

ソーシャルアートの新たな視座

会場　**大阪公立大学梅田サテライト**

①「アートとポストコロニアル」

西洋中心のアートワールドに対する疑問やその解体を試みる動きが広がる中、2023年度は「アートとジェンダー」をテーマに、アートの文脈におけるEquity & Justice（公正と正義）の意義について考察しました。続く2024年度は、「アートとポストコロニアル」に焦点を当て、この問題をさらに掘り下げていきます。

日時：2025年**7**月**23**日（水）19:00～21:00
ゲストスピーカー：
山本浩貴（実践女子大学文学部美学美術史学科准教授）

②「美術館と社会正義・環境正義」

社会正義の実現に、美術館や博物館がどのような役割を果たすべきかが問われる中、つなぎ美術館は、水俣病からの地域再生に先駆的に取り組み、地域と連携したアートプロジェクトを展開してきました。本講座では、環境正義といったキーワードを軸に、水俣の取り組みと、公害問題を克服し環境再生を進める大阪・西淀川におけるアートプロジェクトと対比しながら議論を深めます。

日時：2025年**9**月**25**日（木）19:00～21:00
コーディネーター：
除本理史（大阪公立大学大学院経営学研究科教授）
パネリスト：
楠本智郎（つなぎ美術館　主幹・学芸員）
村田のぞみ（アーティスト）
ディスカッサント：

③「AOPとは何か～誰かの生きにくさに気づき、挑む社会変革～」

AOP（反抑圧的実践／Anti-Oppressive Practice）とは、特にケアや支援に関わるような現場において、見えない差別や不平等に気づき、それに対して行動するための考え方や実践です。こうした抑圧（誰かの生きにくさのようなもの）は見えにくく、さまざまな現場に立つ私たちも気づかないうちに加担してしまうことがあります。本講座では、前半にAOPの基礎レクチャーを実施し、後半には、ワークを通じて自身の足元を見つめます。

日時：2025年**10**月**15**日（水）19:00～21:00
ゲストスピーカー：
風間勇助（「アート / ケア / 文化政策」研究会、奈良県立大学地域創造学部講師）

④「アートプロジェクトの持続可能性を考える～各地の現場から～」

長年各地域でアートプロジェクトを運営してきたアートマネージャーをお迎えし、アートマネジメントの技能や経験を紐解きながら、活動を通じて見えてきた成果やエピソードをもとに、これからの社会に向けての意義を見つめます。また、福祉や教育など異なる分野との協働の機会も増えていくなかで、持続可能な運営や環境整備にも目を向けます。

日時：2026年**1**月**28**日（水）19:00～21:00
パネリスト：
羽原康恵（取手アートプロジェクト包括ディレクター、アートマネージャー）
吉田有里（アッセンブリッジ・ナゴヤ共同ディレクター、名古屋芸術大学准教授、アートコーディネーター）
高岩みのり（ちょちょまうヴァナキュラー実行委員会・事務局、一般社団法人 brk collective 理事、アートマネージャー）
コーディネーター：
松尾真由子（「EJ ART」プログラムマネージャー）

参加費

1回：1,500円／通し：5,000円
学生：1回500円（社会人学生は除く）
＊受講生は、公開プログラムの参加費は必要ありません。

お申し込み

←応募フォームより
開催日の3日前までに
お申し込みください。

全体概要

実施期間	**2025年7月～2026年2月**
実施場所	**大阪公立大学梅田サテライト**（大阪駅前第2ビル 6階） **各アートプロジェクトの現場など**
受講対象者	**アートプロジェクト運営にかかわる実務者、ソーシャルワーカー、地域コーディネーター、行政担当者（文化政策、福祉政策）、美術館・ホール・博物館等の学芸員・職員、研究者（大学院生等）、アーティスト、学生、リカレント希望者など。および対面で参加できる方。** ＊アートを通して社会課題と向き合いたい方、特にアートコーディネーター志望者を求めます。
受講料	**受講生対象プログラム：15,000円／学生：5,000円**（社会人学生は除く） ＊受講生は、公開プログラムの参加費も上記受講料に含まれます。
修了証書	**本プログラムを所定の条件のもとで修了された方には、大阪公立大学より発行される修了証書を授与します。**

応募方法

受講を希望される方は、中面「実践・場づくり」の各応募フォームよりお申し込みください。

〆切　**6月25日（水）23:59**

＊公開プログラムのみの一般参加の方は、専用応募フォームよりお申し込みください。

選考方法　応募動機等を参考に選考します。
また、〆切を過ぎても追加募集を行う場合があります。

選考結果　**6月30日（月）に応募者全員に連絡します。**

2023年度または2024年度の受講生対象

応募フォーム

必修プログラムである「実践・場づくり」の選択コースを「ソーシャルアート・チャレンジ・プログラム」に振替可能です。希望者は右記応募フォームよりお申し込みください。

＊本事業では、アーカイブとして写真および動画の撮影を行います。また、これらの記録データを公開する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

＊7月4日（金）の「EJ交流会」はオリエンテーションを兼ねて実施します。受講を希望される方は、できる限りご参加ください。詳細は中面をご覧ください。

受講希望者向けオンライン説明会

6月5日（木）19:00～／15日（日）13:00～
（1時間程度）
**参加希望日・氏名・電話番号を明記のうえ、Eメール（info@eandjart.jp）より
お申し込みください。**

問い合わせ先

大阪公立大学「EJ ART」事務局
（都市経営研究科内）
Email　**info@eandjart.jp**
Tel　**06-6605-2496**
（平日 9:00～17:00）
HP　**https://eandjart.jp**

主催｜大阪公立大学
学内協力機関｜大学院都市経営研究科／大学院文学研究科／都市科学・防災研究センター／地域連携センター
共催｜大阪市／公益財団法人公害地域再生センター・あおぞら財団／NPO 法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）／NPO 法人トッカビ
協力｜大阪アーツカウンシル
助成｜令和7年度 大学における芸術家等育成事業

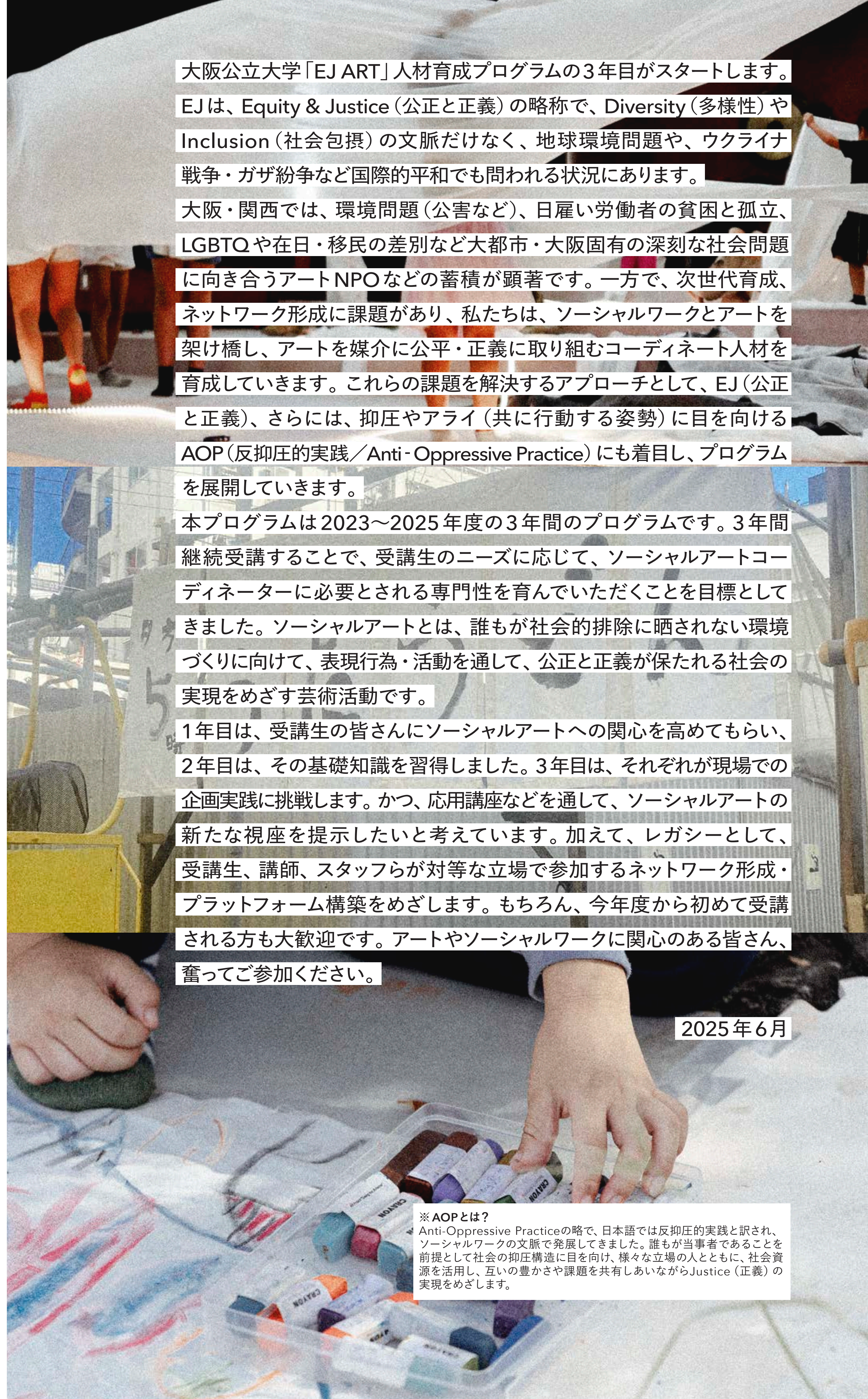
Equity & Justice 公正 正義

大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

大阪公立大学「EJ ART」人材育成プログラム ―― Equity & Justice｜AOPで未来を拓こう！

Equity&Justice（公正と正義）を軸にした
ソーシャルアートコーディネーターの人材育成

EJ ART
受講生募集



大阪公立大学「EJ ART」人材育成プログラムの3年目がスタートします。

EJは、Equity & Justice（公正と正義）の略称で、Diversity（多様性）やInclusion（社会包摂）の文脈だけなく、地球環境問題や、ウクライナ戦争・ガザ紛争など国際的平和でも問われる状況にあります。

大阪・関西では、環境問題（公害など）、日雇い労働者の貧困と孤立、LGBTQや在日・移民の差別など大都市・大阪固有の深刻な社会問題に向き合うアートNPOなどの蓄積が顕著です。一方で、次世代育成、ネットワーク形成に課題があり、私たちは、ソーシャルワークとアートを架け橋し、アートを媒介に公平・正義に取り組むコーディネート人材を育成していきます。これらの課題を解決するアプローチとして、EJ（公正と正義）、さらには、抑圧やアライ（共に行動する姿勢）に目を向けるAOP（反抑圧的実践／Anti-Oppressive Practice）にも着目し、プログラムを展開していきます。

本プログラムは2023～2025年度の3年間のプログラムです。3年間継続受講することで、受講生のニーズに応じて、ソーシャルアートコーディネーターに必要とされる専門性を育んでいただくことを目標としてきました。ソーシャルアートとは、誰もが社会的排除に晒されない環境づくりに向けて、表現行為・活動を通して、公正と正義が保たれる社会の実現をめざす芸術活動です。

1年目は、受講生の皆さんにソーシャルアートへの関心を高めてもらい、2年目は、その基礎知識を習得しました。3年目は、それぞれが現場での企画実践に挑戦します。かつ、応用講座などを通して、ソーシャルアートの新たな視座を提示したいと考えています。加えて、レガシーとして、受講生、講師、スタッフらが対等な立場で参加するネットワーク形成・プラットフォーム構築をめざします。もちろん、今年度から初めて受講される方も大歓迎です。アートやソーシャルワークに関心のある皆さん、奮ってご参加ください。

2025年6月

※AOPとは？
Anti-Oppressive Practiceの略で、日本語では反抑圧的実践と訳され、ソーシャルワークの文脈で発展してきました。誰もが当事者であることを前提として社会の抑圧構造に目を向け、様々な立場の人とともに、社会資源を活用し、互いの豊かさや課題を共有しあいながらJustice（正義）の実現をめざします。

2025年度 活動予定

受講について

必修

いずれか1コースを選択

実践・場づくり

- 公害から環境共生　あおぞら財団
- 多文化共生　トッカビ
- 再チャレンジと表現　ココルーム

いずれか1ゼミを選択

ゼミナール

- アートと環境正義
- 多文化共生と場づくり
- AOP

通期プログラム

- EJ交流会
- 評価
- ブックレット

公開プログラム　＊一般参加可

- 応用講座

任意

通期プログラム

- アート × 哲学カフェ
- アーカイブ

実践・場づくり　＊1、2年目の受講生は振替可

- ソーシャルアート・チャレンジ・プログラム

必修（選択）

実践・場づくり　定員：各コース 8名程度

1年目、2年目は基礎講座等座学で学んだ知識を現場にフィードバックしながら、マネジメントの勘所や、アウトカム等を体感し、受講生がプロとともに一部の企画を協働しました。3年目は、実践・場づくりをメインプログラムとし、受講生は3つの現場から1つを選び、自らの興味や学びの目的に即した形で企画の実践に取り組みます。

ガイダンス　＊選択コースに関わらず、できる限りご参加ください。

会場　大阪公立大学梅田サテライト

再チャレンジと表現
日時：7月9日（水）19:00〜21:00
講師：上田假奈代

多文化共生
日時：7月11日（金）19:00〜21:00
講師：朴洋幸

公害から環境共生
日時：7月16日（水）19:00〜21:00
講師：藤江徹

ソーシャルアート・チャレンジ・プログラム
日時：8月19日（火）19:00〜21:00
講師：レオナルド・バルトロメウス

「公害から環境共生 〜『困難な過去』を見つめていくためのアートプロジェクト〜」

公益財団法人公害地域再生センター・あおぞら財団

環境再生・地域再生に取り組むあおぞら財団の拠点である大阪市西淀川区は、ニューファミリーが増え、人口がゆるやかな増加傾向にある町ですが、戦後の高度経済成長期に深刻な大気汚染公害を経験した負の歴史を持っています。しかしながら、同時代を知る人たちは減り公害の歴史を知らない人たちも増え、その痛みの継承が途絶えてしまい、風化、忘却されてしまう恐れがあります。
本プログラムでは、アーティストに村田のぞみを迎え、受講生と共に公害の歴史や街をリサーチし、地域住民と協力して作品制作を行います。作品は、11月に開催される地域イベント「みてアート」で発表を行います。
何もしなければ時とともに風化してしまう負の歴史を改めて見つめ直し未来に繋げることで、不幸の再発を防ぐ一助となることを願いながら、アートと共に向き合っていきます。

開催時期：7月〜11月　全10コマ
会場：大阪市西淀川区
コーディネーター：松岡咲子（アートコーディネーター、女優）
アーティスト：村田のぞみ（アーティスト）

こんな方におすすめです

- 地域に根ざしてアートマネージメントを実践したい方
- アートプロジェクトの立ち上げから体験してみたい方
- アーティストの作品制作サポートを体験したい方

応募フォーム

photo：寺岡海

「多文化共生 〜外国にルーツを持つ子どもたちとの音楽プログラム〜」

NPO 法人トッカビ

トッカビは、大阪八尾市の在日コリアンが多住する地域で、そこに暮らす子どもたちへの人権擁護の活動を行うため設立されました。その後、地域に多様な国籍の在住者が増えるにつれ、これまでの経験を活かし、ベトナム、フィリピンなどの外国にルーツを持つ子どもたちや人々が、異なる社会的・文化的背景を隠したり否定することなく、肯定的に受け止め、物事を豊かに感じ生きていくことができる社会環境を築くことをめざし活動を行ってきました。
本プログラムでは、音を媒体として活動するアーティストM集会を迎え、トッカビに集まる外国にルーツを持つ子どもたちを対象とした音楽プログラムを実施します。また、青少年の居場所づくりで先進的な取り組みを行うHajaセンター（韓国）と連携し、子ども同士の国際交流を軸にプログラムを展開します。歴史的な背景や違いを知り、子どもたちが生き抜く社会を想像すること、「共にある」ことの重要性を体感し、これからの多文化共生について考えます。

開催時期：7月〜11月　全6コマ
会場：NPO 法人トッカビ ほか（大阪府八尾市）
コーディネーター：朴洋幸（NPO 法人トッカビ代表理事）
アーティスト：M 集会（アーティスト）
国際連携：Haja センター（韓国）など

こんな方におすすめです

- 多文化共生や子どもたちへのプログラムに興味のある方
- 居場所の運営に興味のある方

＊本プログラムは、平日の開催や、韓国でのワークショップ（任意参加）もあります。

応募フォーム

photo：寺岡海

「再チャレンジと表現 〜釜ヶ崎における協働の自立支援表現プログラム〜」

NPO 法人ココルーム・釜ヶ崎芸術大学

ココルーム・釜ヶ崎芸術大学は、大阪市西成区・釜ヶ崎（通称）に関わり、地域に根ざしながら、さまざまな人々と出会い、表現と学びあいの場をつくる活動を行ってきました。会場となる「あいりん臨時夜間緊急避難所（シェルター）」は、野宿生活を余儀なくされている人々へ緊急・一時的に宿泊場所を提供している施設です。日雇い労働者の高齢化やコロナ禍以降、若年層の利用者も増えつつあるなか、常態的に利用している方への自立支援が課題となっています。
本プログラムでは、コーディネーターに上田假奈代を迎え、シェルターを利用する人々とともにさまざまな表現プログラムを行います。また、イギリスでホームレス状態にある人々を「文化リーダー」として育成する活動を行うマット・ピーコックを招き、国際的なネットワークづくりや国際情勢に照らしたEJ（公正と正義）についても学びを深めます。
表現を通じて、自他の存在を認め合うことや新たな視野で周囲をみること、働くことへの意識の変化を見出すきっかけとなり、協働し生きることに向き合う力を養うことをめざします。

開催時期：7月〜1月　全10コマ
会場：あいりん臨時夜間緊急避難所（シェルター）（大阪市西成区）
コーディネーター：上田假奈代（詩人、NPO 法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表理事）
アーティスト：永井玲衣（哲学）、華雪（書・篆刻）、砂連尾 理（振付家・ダンサー）
国際連携：マット・ピーコック（Arts&Homelessness International 代表／イギリス）

こんな方におすすめです

- アートマネジメント業務のノウハウを現場を通じて学びたい方
- 社会的な課題に対して、アートを通じた取り組みを学びたい方
- 多様な背景をもつ方々との協働プログラムに興味のある方

＊本プログラムの参加を希望される方は、平日日中に参加可能な方が条件となります。

応募フォーム

ゼミナール

「実践・場づくり」で、受講生が主体的に企画を進めるための準備として、各分野の第一線で活躍する内外の研究者・実務家等を招聘し、テーマを掘り下げ、ディスカッションを重視した少人数制のゼミを実施します。

「アートと環境正義」

＊本ゼミナールを受講される方は、あおぞら財団と行う「実践・場づくり」への参加を推奨します。

まず環境正義に関する講義を行い、近隣でアートプロジェクトを実践する団体や海外アーティストから具体的な活動事例について話を伺います。これらをふまえ、西淀川でアートプロジェクトを継続する意義を考察していきます。

定員：8名程度
開催時期：8月　4コマ
会場：大阪市西淀川区
講師：除本理史（大阪公立大学大学院経営学研究科教授）
藤江徹（公益財団法人公害地域再生センター・あおぞら財団事務局長）
ペネロペ・カニサレス・ベリード（Concèntrica Project ファウンダー＆キュレーター／スペイン）

「多文化共生と場づくり」

＊本ゼミナールを受講される方は、NPO法人トッカビと行う「実践・場づくり」への参加を推奨します。

「子どもの貧困と居場所づくり」をテーマとした講義を通じて基礎知識を学びます。つづいて、韓国のHajaセンターのこれまでとこれからの取り組みについて講演を聞き、「多文化共生と場づくり」について理解を深めます。その後、受講生が主体的にグループワークでアートプログラムの企画書を作成する予定です。

定員：8名程度
開催時期：8月〜12月　4コマ
会場：大阪公立大学梅田サテライト、NPO法人ココルーム・釜ヶ崎芸術大学
講師：五石敬路（大阪公立大学大学院都市経営研究科教授）
朴洋幸（NPO法人トッカビ代表理事）
イ・チュンハン（ソウル市立青少年未来進路センター（Haja Center）企画部長／韓国）

「AOP〜実践現場で感じた『もやもや』を表現してみよう〜」

「実践・場づくり」の現場で感じた「もやもや」（人々が抱える抑圧や生きづらさ）を見つめ、「ZINE（ジン）」という小冊子や紙面で表現するワークショップを行ないます。なぜ「もやもや」したのか、言葉にして誰かと共有することは、自分や自分を取り巻く社会の認識を批判的に捉えたうえで変えていくことをめざすAOPの第一歩です。

定員：8名程度
開催時期：10月〜1月　3コマ
会場：大阪公立大学梅田サテライト
登壇：風間勇助（「アート / ケア / 文化政策」研究会、奈良県立大学地域創造学部講師）

必修（全受講生対象）

通期プログラム

EJ交流会　4コマ

受講者同士のコミュニケーションや意見・情報交換を目的に定期的な交流会を実施します。また、評価プログラムとの連携により、自身の学びの達成度を見つめる機会を設けます。

オリエンテーション

今年度のプログラム内容の詳細をお伝えするとともに、受講生やスタッフの自己紹介を行います。

① 日時：7月6日（日）13:00〜16:00
会場：山王集会所（大阪市西成区山王2-10-24）

② 開催時期：8月ごろの予定
③ 開催時期：1月ごろの予定
④ 開催時期：2月ごろの予定

①④ ファシリテーター：久保田テツ（福山大学人間文化学部メディア・映像学科准教授、NPO remo［記録と表現とメディアのための組織］代表理事）
②③ ファシリテーター：石幡愛（アートマネージャー、リサーチャー）

評価　2コマ程度

本プログラムでは、事業改善と説明責任の観点から、評価に力点を置き、かつ講座として取り入れる点に大きな特徴があります。受講生は、参加型評価の主体として参加し、評価コーディネーターや文化事業評価の研究者から、文化事業におけるルーブリック評価を始めとした最新の知見を学ぶことができます。

コーディネーター：
熊谷薫（合同会社 ARTLOGY 代表）
石幡愛（アートマネージャー、リサーチャー）
川野辺雪菜（フリーランスファンドレイザー）

ブックレット　2コマ

人材育成の成果を把握するため、写真・動画・資料等を「アーカイブ」で収集し、受講生の気づき、もやもや、事業の紆余曲折を「評価」で収集、分析します。これらのプロセスは、「ブックレット」の編集作業を通して受講生と共にかたちづくられ、ソーシャルアートの新たな視座を提示することをめざします。

コーディネーター：
仲村健太郎（Studio Kentaro Nakamura / ブックデザイナー / グラフィックデザイナー）

任意

通期プログラム

アート×哲学カフェ

受講生が各「実践・場づくり」の現場で生じた疑問（もやもや）やふと気になったことがらについて、それってどういうことなのかを問い直します。受講者の発言を聴き合える安全な空間になるよう参加者全員（ファシリテーターを含む）でめざします。

定員：各回8回
開催時期：9月〜1月　4コマ
ファシリテーター：
服部俊子（大阪公立大学大学院都市経営研究科教授）

アーカイブ

一年間のプログラムを「公開アーカイブ」として保存することを目的として取り組みます。ワークショップを通じてアーカイブの意義を探り、現場で写真・動画・関連資料を継続的に収集していきます。「EJ ARTの活動は後世に何を残すのか」を問い続けながら、プログラムを推進します。

開催時期：8月〜2月
コーディネーター：金崎亮太（「EJ ART」プログラムコーディネーター、大阪公立大学都市経営研究科特任准教授）
アドバイザー：山口祥平（大分県立芸術文化短期大学准教授）

実践・場づくり

ソーシャルアート・チャレンジ・プログラム

本事業では、EJとAOPのレンズを通して、アートマネジメントに関する知識と技能を修得してきました。本プログラムでは「企画力」の中でもビジョンやプロジェクト設計などアドミニストレーションの力に焦点をあて、受講生がチーム（コレクティブ）または個人で、ソーシャルアートの企画に挑戦し、新たな《場》と《プロジェクト》の実現をめざします。資金面のサポートをしつつ、キュレーション・建築・アートの専門家が受講生による創造的実践に伴走します。

開催時期：8月〜1月　8コマ程度
アドバイザー：
レオナルド・バルトロメウス（キュレーター、山口情報芸術センター［YCAM］）
榊原節子（建築家、榊原節子建築研究所）
金崎亮太（「EJ ART」プログラムコーディネーター、大阪公立大学都市経営研究科特任准教授）

スケジュール

＊各プログラムの日程詳細は、決まり次第、受講生の皆さんにお知らせします。

7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月

- 実践・場づくり　公害から環境共生／あおぞら財団（7〜11月）
- 実践・場づくり　多文化共生／トッカビ（7〜11月）
- 実践・場づくり　再チャレンジと表現／ココルーム（7〜1月）
- 実践・場づくり　ソーシャルアート・チャレンジ・プログラム（8〜1月）
- ゼミ　アートと環境正義（8月）
- ゼミ　多文化共生と場づくり（8〜12月）
- ゼミ　AOP（10〜1月）
- EJ交流会①（7月）
- EJ交流会②＋評価①（8月）
- EJ交流会③＋評価②（1月）
- EJ交流会④（2月）
- 哲学カフェ（9〜1月）
- アーカイブ（8〜2月）
- ブックレット①（9月）
- ブックレット②（2月）
- 応用講座①（7〜8月）
- 応用講座②（9〜10月）
- 応用講座③（10〜11月）
- 応用講座（国際ネットワーク）（1月）
- 応用講座④（1〜2月）